

順番	氏 名	質問事項・質問要旨・答弁者
1	伊藤 正実	質問事項 みらい平地区の安全対策のためのミラー、信号機、道路標示、注意看板の設置について 質問要旨 未だ開発が続いているみらい平地区では、特に「交通量の多い交差点」と「公園のそば、又は角」は見通しが悪いなど、非常に危険な箇所が増えてきた。安全対策として、事故防止用のミラー設置の考え方について伺う。また、交通量の増大に伴い、信号機等が無い交差点では、歩行者の横断や、路地からの進入時など、危険を伴う箇所が増えている。みらい平地区の一部の交差点では、既に信号機を設置することが出来るようになっていて、必要な箇所に信号機を設置して、交通のコントロールを行うべきと考えるが、警察への要望はどのように行われているのか伺う。 さらに、道路標示(横断歩道、停止線、注意喚起のための表示など)や注意看板の設置など、危険回避のための施策を講じるべきと考えるが、市の考えを伺う。要望箇所、頻度などもお教え願いたい。
		答弁者 市長
		質問事項 空き地対策について 質問要旨 住宅地などでは、今なお、管理されていない土地が多く見受けられる。当該土地に不動産業者等の「管理地」などの看板が立っていても、当該管理者と称している不動産業者等は、十分な管理を行っていないケースが見受けられる。特に夏場に向かい、繁茂した雑草が公道等にはみ出し、通行を妨げ、交通事故を誘発することもあり、危険でもある。また、当該場所が通学路に接している土地では、はみ出した雑草により、歩行者の通行が阻害され、危険が増大している箇所も見受けられる。空き地の管理不十分に伴う虫害、悪臭などの問題も発生しており、隣地への影響や、一部では近隣トラブルに発展しているケースも見受けられる。このような状況について、市は個々に所有者等を把握していると推察されるが、その所有者、管理者等に対して、どのような指導・助言を行っているのか伺う。
2	本間 真由美	答弁者 市長
		質問事項 「新生児マススクリーニング」について 質問要旨 新生児マススクリーニング(先天性代謝異常等検査)とは、先天性代謝異常等を発症前に発見し、生後早期に治療介入することを目的とした検査である。現在、厚生労働省の指導のもと、自治体が主体となって公費負担で実施する新生児マススクリーニング(20疾患を対象)と、これに追加して任意・有料で実施する拡大新生児スクリーニング(オプショナルスクリーニング:現在、最大で9疾患を対象)の2種類がある。そこで、茨城県内での検査体制(検査機器・検査キットの整備)及び治療体制の現状について伺う。また、本市において、現在、任意・有料である拡大新生児スクリーニング費用の助成を検討すべきだと思うが、市の考えを伺う。
		答弁者 市長
3	前嶋 竜乃介	質問事項 出産後の行政手続について 質問要旨 日本国内で子供が生まれた場合、戸籍法により、生まれた日から14日以内に出生届を提出することが義務付けられている。出産直後の母体は、ダメージを受けており、回復期である中での手続は身体的・精神的に大きな負担を伴う。母親の負担軽減や行政手続のデジタル化推進の観点から、出生届のオンライン提出を導入してはと考えるが、市の見解を伺う。 また、出生届提出後の関連手続も含め、市民の利便性向上を図る取組が必要であると思うが、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 若者の声を市政に生かす仕組みづくりについて 質問要旨 若者の声を市政に生かす仕組みづくりについて伺う。 本市は、これまでも市民参画に取り組んできたが、若い世代が意見を伝え、市の政策に関われる機会は更に広げられると感じている。 他自治体の事例も参考に、未来を担う若者の市政への参画促進について、市の考えを伺う。
4	小林 芳子	答弁者 担当部長
		質問事項 オーガニックビレッジの創出に向けて 質問要旨 農林水産省では、みどりの食料システム戦略に基づく特定区域の設定などに向けて取り組む地域や有機農業を広く県域で指導できる環境整備に向けた取組を支援するとしている。本市では今年度、休耕地の砂塵対策事業を見直し、学校給食用の野菜を栽培する計画があるが、この休耕地を利用して、いわゆるオーガニックビレッジを創出してはいかがかと考えるが、市の所見を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 落書き対策について 質問要旨 近年の社会問題として、落書きがあげられる。落書きを放っておくと次々と落書きを呼び込み、落書きが増えていく特徴がある。また景観を損なうだけでなく、ゴミのポイ捨てを増長させ環境悪化や治安悪化にも繋がる。そこで、落書きを消す事業に加えて、落書きをさせない街づくりを進めるため、行政と地域住民が連携して取り組む施策が必要と考えるが、市の所見を伺う。
		答弁者 担当部長

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
5	古川 よし枝	質問事項 米不足・米価高騰等が続く混乱の中、米どころつくばみらい市の市民への支援策について 質問要旨 市では「市内産の米を食べよう」という、米の消費拡大を推進し、市内産米の安定生産と、農業の持続的な発展に寄与することを目的とする条例を令和5年に制定している。 1 ・米価高騰が続く中、この条例を生かし、市民への支援、特に子育て世帯への米購入券の給付など、経済的支援を求めるが、市の考えを伺う。 ・米価高騰は、供給不足もその一因となっているが、米農家が減る中、市独自に担い手を増やす積極的な取組が必要であると考えるが、市の見解を伺う。 答弁者 市長・担当部長
		質問事項 2026年度実施の「こども誰でも通園制度」について 質問要旨 来年度から、全自治体で「こども誰でも通園制度」が実施される。本制度は、3歳未満児が保護者の就労等の要件を問わず、時間単位で月10時間まで等、その利用枠内で、保育施設を利用できるというものである。この制度は、全国の保育施設で、利用が可能となるが、安心して預けられるかが問われている。 2 そこで、本市の取組について伺う。 ・既存施設で取り組む場合は、通常の保育に加えて新しい事業を実施することになるが、職員体制の管理や施設内での情報共有、在園時に支障のない運営が確保できるのか。 ・新たな事業者の参入については事業者を認可する規準、施設への立入検査や指導などが十分にできる制度なのか。 答弁者 市長・担当部長
6	飯村 裕一	質問事項 本市におけるスクールカウンセラーの活動状況と今後の課題について 質問要旨 1 現在、本市ではスクールカウンセラー制度を導入しているが、現在までの活動状況と、活動を通じて考える今後の課題について伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 本市における農業基本計画に沿った2024年度の取組内容と現在の米を中心とした物価上昇に向けた対策について 質問要旨 2 2024年度から2033年度までの10年間の計画として、農業基本計画が策定され、1年が経過した。各指標の目標値に向けた達成状況について、2022年から2023年では、担い手への農地集積率が47.5%から49.2%で微増している。2033年の目標値は66.0%としているが、2024年度は、どのように推移し、どのように取り組んでいたのかを伺う。 また、10年計画ではあるが、今年に入り、米などの価格高騰が著しく、その都度計画の見直しや検討が必要と考える。今後の米の価格高騰に対する市の対策はあるのか伺う。 答弁者 担当部長
7	中山 治	質問事項 戦後80年、戦没者慰霊碑と遺族会について 質問要旨 1 ・戦争で亡くなった多くの人の魂が、戦没者慰霊碑として、その霊を慰めるために建立された。市内には、いくつかの戦没者慰霊碑があるのか、また管理の現状を伺う。 ・遺族会は、解散や脱会を含め全国的に減少しつつある状況だが、市内の状況と推移を伺う。 ・全国の遺族会の減少を見るに当たり、市内の戦没者慰霊碑について、将来遺族会と市が関わり、守っていくことが必要と考えるが、今後の管理・保存について、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長
8	中島 督仁	質問事項 YAWARA福岡堰さくら公園付近の渋滞問題について 質問要旨 1 YAWARA福岡堰さくら公園付近では、毎年、桜の季節になると多くの観光客が訪れるが、その際に発生する交通渋滞が深刻な問題となっている。 特に、駐車場不足が大きな課題となっており、駐車場に入れない車が道路上で順番待ちをすることで、公園周辺の道路に車があふれ、近隣地域にまで渋滞が延伸するなど、周辺住民の生活にも影響が出ている状況である。 この駐車場不足に伴う渋滞問題に対して、本市の対応と対策について伺う。 答弁者 担当部長
9	直井 高宏	質問事項 「広域的地域活性化のための基盤整備に関する法律の一部を改正する法律」が昨年11月に施行されたことについて 質問要旨 1 ・人口減少は日本全体の課題であり、地域活性化を目的に、二地域居住促進で地域課題を解決する新たな国の取組が追加されたが、本市の考えを伺う。 ・「特定居住促進計画」とは、二地域居住促進の計画のことで、住民の意見を取り入れながら、二地域居住に関する基本方針及び求める二地域居住者像等を記載し、地域と二地域居住希望者の適切なマッチングにつなげることが目的である。本市における「特定居住促進計画」についての考えを伺う。 答弁者 市長・担当部長

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
10	岡本 昌弘	質問事項 手話言語条例の制定について 質問要旨 ・ろう者に対する支援や取組、来庁時の対応について伺う。 1 ・手話が言語であることを認識し、ろう者の人格と個性を皆が尊重し合い、共生社会を実現することが重要であると考えているが、「つくばみらい市手話言語条例」を制定することについて、本市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 不払い養育費の確保について 質問要旨 ・養育費の不払いが、ひとり親家庭の貧困の要因の一つとなっている実態を踏まえ、ひとり親家庭が安定した生活の下、子供を健全に育むことができるよう、様々な支援策を行うことが重要と考えるが、本市の見解を伺う。 2 ・本市においても、ひとり親家庭の方が養育費を確実に受け取ることができるようにするため、市が養育費の立替えや支払義務者に対する督促を実施するなど、養育費支払いの正常化につながる支援が必要と考えるが、本市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
11	松本 譲二	質問事項 空き家の現状及び空き家の発生を抑える取組等について 質問要旨 人口減少や高齢化の進行、相続問題などを背景に空き家が増加している。 1 地域によっては、適正に管理されていない空き家があり、建物の安全性の低下や公衆衛生の悪化など、様々な問題が生じている。 そこで、本市における空き家の現状及び現在取り組んでいる空き家対策並びに今後の課題等について伺う。 答弁者 担当部長
12	マクキム 洋子	質問事項 質問要旨 1 通告を取り下げました。 答弁者
		質問事項 つくば野田線の渋滞回避を目的とした小絹地区内の抜け道対策について 質問要旨 県道つくば野田線と国道294号小絹東交差点付近の慢性的な渋滞を回避するため、小絹駅北側の住宅地を抜け道として通過する車が後を絶たない。特に、朝夕の通勤時間帯は、地域住民の日常生活に大きな支障をきたしている。 2 この状況に対して、市は対策を講じているが、現状はあまり改善が見られず、更なる安全対策が必要と思われるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 小絹コミュニティセンターに各種証明書が取得できるマルチコピー機を設置することについて 質問要旨 コンビニエンスストア等に設置されたマルチコピー機を利用し、各種証明書を取得することができるが、高齢者の中には、不慣れな端末操作に手間取る不安から、利用を躊躇することもある。 3 本年6月1日から、コンビニエンスストアに設置されているマルチコピー機を利用すると手数料が10円に引き下げられるが、操作に対する不安解消には繋がらない。 そのため、端末操作に費やす時間に焦ることなく利用できるよう、小絹コミュニティセンターにマルチコピー機を設置することが望まれるが、市の見解を伺う。 答弁者 担当部長
13	吉田 稔之	質問事項 林野火災における消火対策について 質問要旨 ・今年2月に発生した岩手県大船渡市の大規模林野火災は、鎮火に40日近くもかかり、約3,370haもの面積を焼失した。そこで、本市における林野の面積と過去10年間の林野火災の発生状況について伺う。 1 ・林野における防火施設の設置状況や消防訓練の実施状況について、市に伺う。 ・林野火災発生時の消火に向けた組織的な消防体制について伺う。 答弁者 担当部長
		質問事項 農業機械の代車制度を盛り込んだ連携協定の見直しについて 質問要旨 ・自家用車の修理、車検等の際は、生活に支障がないよう民間事業者が代車を用意することがある。しかし、農業機械にトラブルが発生した場合は、修理期間中の農作業が滞ってしまう問題がある。そこで、まず市内の農業者が保有するトラクターやコンバインの台数等の現況を伺う。 2 ・現在、株式会社クボタと締結している連携協定において、農業機械のシェアリングに関する内容が記載されているが、この内容について伺う。 ・農業機械の修理期間中に、農業者が代車として、農業機械を使用できるような仕組みを連携協定に盛り込むことについて、市の考えを伺う。 答弁者 担当部長

通告議員13人 質問21問